

主催:(一社)全国肥料商連合会 後援:東京農業大学

5月21日(水)		講師	講義内容
8:45	受付		東京農大世田谷キャンパス 国際センター2階「榎本ホール」
9:15～9:30	開講式		
1	9:30～10:20 <共通 50分>	農水省	I.「肥料の品質の確保等に関する法律」の概要
	10:20～10:30 休憩		
2	10:30～11:15 <基礎 45分>	後藤	II-①. 土壌と施肥の基礎知識 1. 土壌の生成と分類 2. 各種土壌の特性 3. 土壌の物理性、化学性、生物性
3	11:15～12:00 <実学 45分>		II-②. 土壌診断分析に基づいた施肥 1. 肥料価格高騰にも役立つ土壌診断 2. 国産バイオマス・未利用資源の肥料利用 3. 有機農業は環境にやさしいか?
	12:00～12:45 昼食		(弁当を準備:農大生・GAカデミー以外の受講生)
	12:45～12:50 DVD鑑賞		<<加里鉱石の産出と製造>>
4	12:50～13:35 <基礎 45分>	小川	III-①. 施肥の原理と肥料の種類・特性、施肥の方法 1. 施肥の原理、肥料資源の有限性 2. 肥料の分類と特性 3. 施肥量の決定方法
5	13:35～14:20 <実学 45分>		III-②. 環境にやさしい施肥技術 1. 農業と環境 2. あふれる窒素をどうする 3. 環境にやさしい農業における施肥技術
	14:20～14:30 休憩		
6	14:30～15:20 <共通 50分>	五十嵐	IV 生産環境と圃場栽培管理 1. 気象環境がもたらす、栽培環境変化 2. 被覆による環境変化と生理生体の関係 3. 野菜類に対する栽培技術対応
	15:20～15:30 休憩		
7	15:30～16:15 <基礎 45分>	馬	V-①. 植物のミネラル栄養 1. 植物と動物の栄養素の違い 2. 肥料の誕生と功罪 3. 植物のミネラル栄養素の機能と欠乏症状
8	16:15～17:00 <実学 45分>		V-②. 植物のミネラル栄養素の取り方 1. ミネラル輸送体と養分吸収における根系の役割 2. ケイ素の効果とケイ酸輸送体 3. ミネラル分配と節の役割
	17:00～17:10 閉講式		* 実学コース受講者は解散
5月22日(木)			(基礎コース受講者対象)
8:45	受付		東京農大世田谷キャンパス 国際センター2階「榎本ホール」
9	9:00～10:20 実演講習	メーカー技師	VI. 簡易土壌分析機器の特長と使用方法 農家のお医者さん / コンパ外水質計LAQUAtwin 農大式みどりくん / 反射式光度計RQフレックス
	10:20～10:30 休憩		
	10:30～11:20 検定試験(1)		東京農大世田谷キャンパス 国際センター2階「榎本ホール」
	11:20～11:35 休憩		
	11:35～12:25 検定試験(2)		東京農大世田谷キャンパス 国際センター2階「榎本ホール」
	12:25～12:30 閉講式		終了後解散

\*講義内容は、一部変更になる場合がありますご了承ください。

## 第 42 回全肥商連施肥技術講習会 講師プロフィール

(敬称略)

### 後藤 逸男 (ごとう いつお)

東京農業大学名誉教授 東京農大発(株)全国土の会代表取締役  
「全国土の会」 会長 (農家のための土と肥料の研究会)  
農学博士 土壌学及び肥料学を専門分野とする。土壌病害の総合防除対策、  
土壌改良資材の研究開発。農業生産現場に密着した実践的土壌学を目指す  
「環境保全型農業事典」、「土壌学概論」、「施肥管理と病害発生」(共著)、  
「土壌・肥料・植物栄養学用語集」、「土壌サイエンス入門」他多数執筆

### 小川 吉雄 (おがわ よしお)

元茨城県農業総合センター園芸研究所 所長  
元鯉淵学園農業栄養専門学校教授、元東京農業大学客員教授  
農学博士 土壌・肥料学、米麦・畑作物栽培等を専門分野とする。  
窒素循環の再生技術を研究、農業と環境問題を研究。「土壌肥料用語事典」、  
「地下水の硝酸汚染と農法転換」、「トコトンやさしい土壌の本」(共著) 他多数

### 五十嵐 大造 (いがらし だいぞう)

元東京農業大学国際食農科学科教授  
元神奈川県農業技術センター三浦試験場主任研究員 農業改良普及員に従事  
農学博士 主に露地野菜の栽培技術及び農業気象学を基にした気象生態の研究  
に従事 べたがけ等の気象改良による生産安定を中心に現場での野菜栽培  
技術に取り組む 「局地気象学」「べたがけを使いこなす」等執筆

### 馬 建鋒 (ま けんぼう)

岡山大学資源植物科学研究所 教授  
農学博士、作物のミネラル輸送機構の解明に従事  
「日本におけるケイ酸研究」(英文)、「植物栄養学」(共著) など執筆  
2015 年から 9 年連続「世界で最も影響力のある研究者」に選出  
2018 年から低 pH における植物-土壌相互作用国際シンポジウム運営委員長  
日本土壌肥料学会賞、日本農学賞、紫綬褒章、国際肥料協会 IFA Norman  
Borlaug Plant Nutrition Award などを受賞

### 農林水産省 (肥料の品質の確保等に関する法律の概要)

農林水産省 消費・安全局農産安全管理課 専門担当官

以上

## 第42回施肥技術講習会 受講申込みの際の注意及び確認事項

(全国肥料商連合会事務局：TEL03-3817-8880)

### 【申込時に予めご了承・ご理解頂きたいこと】

「募集要項」の「17. 特記事項」の項でもご案内しておりますが、新型コロナウイルスの感染が今後再燃するような状況になった場合、開催直前に講習を延期する・中止する、等々、申込時のご案内と異なった対応を取らざるを得ない状況になる事もあり得ますので、予めご了承頂きたく宜しくお願い申し上げます。

### < 1 > 申込の方法

1. 申込用紙に記入の上、**必ずFAXにて**全肥商連本部宛てにお申込み願います。  
\* 氏名の欄に漢字だけでなく、**フリガナを記載**するようにお願いします。
2. **申込の変更やキャンセル**は、**必ずFAXで**行うようお願いいたします。
3. 受講料等の支払いで、**請求書や領収書が必要な方は、申込時にFAXにその旨記載**願います。また領収書の費目（但し書）は「受講料として」と記載致しますので、**これ以外の費目での領収書が必要な方は、具体的な費目名・その金額をFAXに記載**願います。  
※当連合会は免税事業者で適格請求書(インボイス)発行事業者ではありませんので、請求書及び領収書に登録事業者番号の表示は有りません。  
※請求書・領収書は原則PDFファイルをメールに添付して送付致します。
4. 申込用紙をFAXで送付頂くと、申込の完了となります。  
締め切り日の令和6年4月21日（月）以降に（4月24日頃）、講習会開催可否の連絡を事務局より連絡させていただきます。その際に、受講料の支払口座、期日等を連絡致します。
5. **上記第4項に関する連絡は原則E-Mailで行います**（情報伝達の早さと正確性の観点より）。  
従い、**申込FAXに必ずE-Mailアドレスを活字体で正確に記載**願います。  
メールアドレスに、**-（ハイフン）、\_（アンダーバー）、.（ドット）**がある方は分かるように記載願います。また、数字の0（ゼロ）とアルファベットのO（オー）、数字の1（イチ）とI（大文字アイ）とl（小文字エル）などは判別出来るようにご記載願います。  
**申し込み以降はその他の連絡等も原則E-Mailで行います。**

E-Mailで連絡する際、以下の事務局3名宛で発信願います（本紙1名、写し2名の連名）

To: hagimori@zenpi.jp  
Cc: nishide@zenpi.jp  
Cc: muraguchi@zenpi.jp

6. E-Mailアドレスをお持ちでない方は、FAX番号を記載願います。  
E-MailアドレスもFAX番号もお持ちでない方は、**本人と直接連絡が取れる電話番号**をご記載下さい。

### < 2 > 受講料

		基礎コース
教材「改訂版 土と施肥の新知識」		受講生1名
上記教材をお申込みの方 →		¥25,750
お申込みされない方 →		¥23,000
		実学コース
		受講生1名
会場受講		¥25,000
WEB受講		¥35,000

意見交換会会費（参加希望者のみ）：5,000円/1名

### < 3 > 受講料及び意見交換会会費の支払方法

1. 振込期日、振込口座の明細等を後日連絡致しますので、必ず**銀行口座振込**でお願いします。  
※その際、領収書の必要な方は、お申し出ください（必要とする費目と金額をご指示願います）。
2. 期日に間に合わない場合は事務局に連絡し、再指定された期日までに必ず振込で行うようお願い致します。

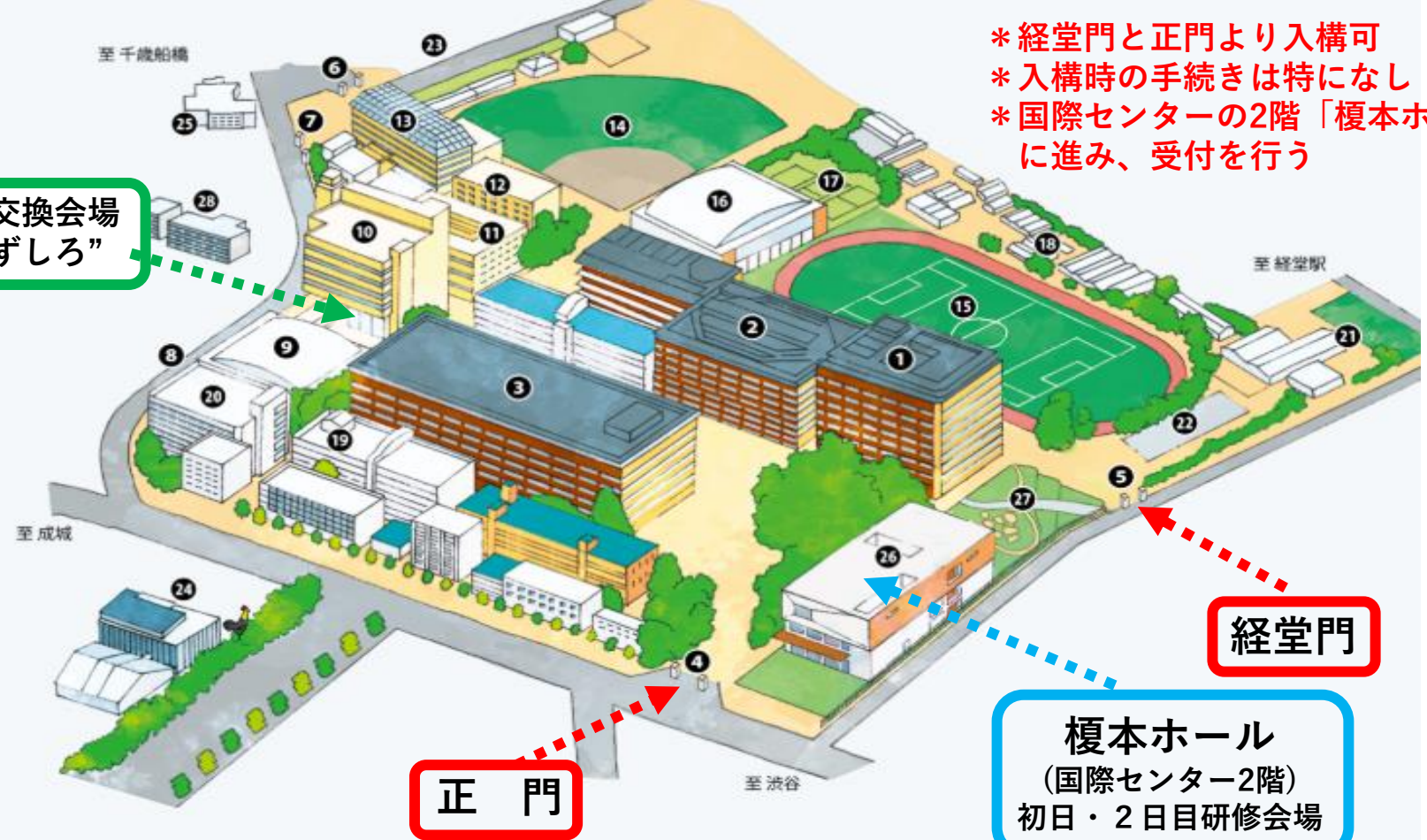
### < 4 > 已を得ない事情でキャンセルする場合

1. 已を得ない事情でキャンセルする場合、可及的速やかに全肥商連事務局へ連絡願います。  
急ぎで電話で連絡した場合でも、**確認のため(必ず)追ってキャンセルの旨をFAXで**送信願います（お申込時に使用したFAX用紙に“キャンセルします”と手書きで記入して送信頂ければ結構です）。
2. キャンセルした日が講習会開催日の3営業日前にかかり、手配した昼食等キャンセル出来ない場合は実費をご負担いただきますのでご了承願います。
3. キャンセルした場合、受講料は2. の実費と振込手数料を差し引いた金額を、後日指定口座に振込にて返金致します。従って、**キャンセルをFAXで連絡する際には返金を受領する口座の詳細を必ずご記載**願います。  
※教本「改訂新版 土と施肥の新知識」のご購入はキャンセルとなりませんので、教本をご購入頂いた場合は教本代も差し引いた金額の返金となります。

以上

\* 経堂門と正門より入構可  
 \* 入構時の手続きは特になし  
 \* 国際センターの2階「榎本ホール」  
 に進み、受付を行う

意見交換会場  
 “すずしろ”



**正門**

**経堂門**

**榎本ホール**  
 (国際センター2階)  
 初日・2日目研修会場

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1 農大アカデミアセンター (図書館、大学事務局、法人本部) 入学センター1階</li> <li>2 1号館(講義棟)</li> <li>3 農大サイエンスポート (研究室、学部事務室)</li> <li>4 正門</li> <li>5 経堂門</li> <li>6 千歳門</li> <li>7 桜丘門</li> <li>8 用賀門</li> <li>9 百周年記念講堂 / カフェテリア・グリーン</li> <li>10 18号館 (共通実験、演習・実習室) / レストラン「すずしろ」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>11 常盤松会館本館 (農友会部室、生協、セブン-イレブン)</li> <li>12 常盤松学生会館 (同好会室)</li> <li>13 常盤松会館道場</li> <li>14 野球場</li> <li>15 グラウンド</li> <li>16 桜丘アリーナ (体育館、トレーニングジム)</li> <li>17 テニスコート</li> <li>18 温室</li> <li>19 11号館4階(サポートセンター)</li> <li>20 12号館(食品加工技術センター)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>21 ホッケー場</li> <li>22 第1駐輪場</li> <li>23 第2駐輪場</li> <li>24 「食と農」の博物館・バイオリウム</li> <li>25 グリーンアカデミーホール</li> <li>26 国際センター (榎本ギャラリー、榎本ホール、サザコーヒー、農大マルシェ)</li> <li>27 経堂の森</li> <li>28 桜丘寮・若草寮</li> </ul> |
|---|---|--|